

山口大学医学部

霜仁会会報



第305号

令和6年7月発行

発行人 福田進太郎

霜仁会事務局 TEL:0836-22-2029

FAX:0836-31-7586

E-mail:jimu@soujinkai.jp

HP:http://soujinkai.jp/

印刷所 瞬報社オフリン印刷株

霜仁会会長

再任のご挨拶

霜仁会会長

福田進太郎



この度、令和6年5月12日に開催された霜仁会総会において引き続き会長に選出していただきました。山口大学医学部医学科同窓会・一般社団法人霜仁会会長として新執行部のメンバーと共に全力を尽くす所存ですので今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

振り返りますと福本陽平前会長の後任として就任してからあつという間の2年間だったような気が致します。新型コロナウイルスのパンデミック発生から4年余りが過ぎ、感染症5類への移行が決まりウィズコロナの時代が始まりました。山口大学の卒業式・入学式も昨年は学生のみ約2,600名が出席して対面式で執り行われましたが、今年

は5年振りに多くの保護者の出席も可能となり、学生と併せ5,000名近い出席者となり2階席まで満席の中、桜咲く「維新大晃アリーナ」で卒業式・入学式がそれぞれ無事に挙行されました。山大混声合唱団の美しいコーラスによる山口大学学生歌と「さくら」がホールに響き渡り胸に迫るものがありました。この学生歌や寮歌、逍遙歌などが山口大学のホームページで聴くことができるようになりましたので是非一度アクセスしてみてください。

この2年間、霜仁会館、医学交流会館においてもWeb会議の増加に対応してWiFi機能や設備の強化・更新を進めてきました。霜仁会本部も本来の業務を続けながら、ホームページのリニューアルも行い各学年へのオリエンテーションやアンケートを通じて同窓会としての意義、活動、認知度の向上を図り、

会費納入率のアップにも繋がりたいと思っております。原因は不明ですが平成10年から平成17年卒の卒業生の会費納入率がやや低いことが気になっていました。母校への想いは、学年によってそれほど差があるはずがないと思っておりますので、ご多忙な年齢かとは思いますが会費の納入にご協力頂きますようにこの場を借りてお願い申し上げます。

また、全国の支部会も令和4年末から徐々に開催されはじめ、令和5年に開催された11の支部会全てに出席して母校の近況を報告するとともに情報交換を行い、旧交を温めることが出来ました。各地の支部会で懐かしいお顔と再会でき、一瞬で溶ける時間の空白に先輩・後輩・同期生の絆は卒業後何年経っても、コロナによるブランクがあってもゆるぎないことが実感できました。

ホームページでも述べさせていただきますように、霜仁会は山口大学が昭和19年に山口医学専門学校として開学し、その4年後の昭和23年創立以来75年の長い歴史を持ち、現在の会員数は令和6年度現在で卒業生と学生、一般会員を併せて

6,525名です。全国には32か所の支部がおかれ、霜仁会OBは国内外の各地で幅広く活躍しておられます。今後多くの若い方々が努力と業績を積み重ねられ、母校の発展と同時に同窓生の誇りやネットワークがさらに強固になっていくために一層の努力をしていく所存です。

この2年間母校の臨床、研究、教育の支援にも取り組んでまいりました。山口大学医学部新規卒業生の国家試験合格率は国立大学の平均値で推移しています。しかし、山口県内で研修を受ける初期研修医の数は増加傾向ですが、山口大学に入局して県内の医療の現場に従事する医師数はまだ微増の状態、特に若手医師の不足が顕著です。県内医師の平均年齢は51・3才と全国最高齢であり、若手医師の定着はもちろんですが大都市の病院で研修を受けた中堅医師のUターンを実現させるためにも今後さらなる施策の実現と努力を継続して魅力ある県内の医療環境を創り上げることが求められています。学長、研究科長をはじめとする大学執行部の施策を同窓会としてできる限り支援させていただきます。

〈新役員紹介〉



会長 福田進太郎 (昭和54年卒)



副会長 藤村嘉彦 (昭和56年卒)



副会長 黒川典枝 (昭和59年卒)



監事 藤井新也 (昭和52年卒)



監事 白澤宏幸 (昭和60年卒)

ただくつもりです。小串キャンパスの整備は着々と進行し、屋上ヘリポートを備えた地上13階の新病棟が完成し様々な高度先進医療が行われています。真締川沿いの敷地もさらに整備され南東部に移った医学部正門も整い、本館の東側に医修館(5階)と医明館(8階)の2つの研究棟が完成して様々なセミナーの開催や講義・実習・研究に使用されています。

世界情勢に目をやればロシアのウクライナ侵攻に引き続きイスラエルのガザ地区への侵攻や反イスラエル勢力との戦闘は現在進行形であり、ミャンマーやスーダンの武力紛争も拡大を続けています。国内に目を転じれば元旦の能登半島大地震の被害修復や復興はまだまだ道半ばですし新型コロナウイルスの感染にも手を抜けません。今後も医療界の社会に対する貢献がさらに必要とされる日々が続くと思われまします。会員の皆様におかれましては、多忙な生活が続いていることと思われますが、どうぞ健康に留意してご活躍していただきたいと思ひます。

なお、霜仁会の最も重要な事業の一つとして、会員

の優秀な業績を表彰する霜仁会賞(学術振興賞、社会活動部門賞)があります。これまでの本賞受賞者は世界の一流紙に掲載される業績を残され、その後医師や医学者として大いに活躍しておられますので、会員の皆様の本賞への応募を是非お願い致します。詳細はホームページをご覧ください。

最後になりましたが、この歴史と伝統ある霜仁会の運営の目的は、会員相互の親睦と交流を深めその発展を図るとともに母校である山口大学医学部の大いなる発展のために様々な形で協力や支援を行うことにあります。この目的達成のため、微力ではありますが役員一同精一杯頑張つてまいる所存ですので霜仁会会員の皆様方や関係各位の暖かいご支援、ご協力を戴きますようよろしくお願い申し上げます。



令和6年度霜仁会総会が、去る5月12日(日)国際ホテル宇部にて開催された。今回の総会は石川剛理事(平12年卒)の司会で始まった。

はじめに福田進太郎会長(昭54年卒)が「ウイズコロナの時代になつても厳しい状況が続いているが、会員の皆様と一致団結して対峙していきたい。また、今年度も山口大学の発展に寄与すべく適切な予算の執行に努めたい。」と挨拶された。

次に、代議員選挙について若松隆史選挙管理委員会委員長(昭56年卒)から、4月1日より任期満了に伴う代議員の立候補を募ったところ、支部代議員および期別代議員とも定数内の応募があり、選挙は行わず新任代議員を選出したことが報告された。

議長には坂部武史先生(昭45年卒)が選出された。議事に先立ち出席状況が報告され、代議員123名のうち68名の出席と45名の委任状により定数の過半数に達し、総会の成立が確認された。議事録署名人には草野倫好(平7年卒)、高見太郎(大学支部)両代議員が指名された。

議案審議は代議員総会の形式で、藤村嘉彦副会長(昭56年卒)の令和5年度事業報告(第1号議案)から始まった。次に白澤宏幸総務委員長(昭60年卒)から令和5年度決算報告(第2号議案)と藤井新也監事(昭52年卒)からの令和5年度会計監査報告(第3号議案)が行われた。続いて、令和6年度事業計画案(第4号議案)と令和6年度予算案(第5号議案)、

理事会決議権限の委任(第6号議案)が提示された。審議の結果、第1号議案から第6号議案まですべて承認された。役員改選のため4月1日から立候補を募ったところ、理事および幹事のいずれも定数内の立候補であった。候補者の氏名が読み上げられ全員が承認された(第7号議案)。(詳細は本会報の8〜10頁)。

新任代議員の紹介
 【支部代議員】小谷譲治(兵庫支部)、木曾伸浩(広島支部)、梶原浩司



令和6年度霜仁会本部役員

令和6年度 霜仁会総会報告

(宇部支部)、鈴木克佳(宇部支部)、関雅彦(福岡支部)、中田雅彦(関東支部)、西村新吉(山陰支部)、民谷正彰(山陽小野田支部)

【期別代議員】山下敦生(平9年卒)、瀬戸口貴昭(令6年卒)、久保璃奈学生代議員(学生1年)(敬称略)

休憩をはさんで、後半の総会は田邊剛医学系研究科長・医学部長(昭61年卒)の他、8名の医学科教授と霜仁会賞受賞者4名を迎えて再開された。

福田会長の挨拶では、議案審議後の臨時理事会にて次期会長として再選されたとの報告があった。続いて、田邊医学系研究科長・医学部長より、霜仁会に対して山口大学医学部への支援の謝辞があった後、医学部の近況として、医学教育に関してはAIシステム教育、自己開発コースでの海外研修、早期外科教育が特徴的な3本柱となっていること、医師国家試験の合格状況、卒後の進路状況等の説明、CRTやOSCEが公的化され地方大学の負担増になっていること、研究面では、がん免疫療法、ゲノム編集および再生医療において世界をリードする研究を

行っており、これらの総合的な発展を目指し、昨年10月に細胞デザイン医科学研究所を設立したことを述べられた。その後、昨年度の新任教員2名、太田康晴教授(病態制御内科学)と佐野元昭教授(器官病態内科学)が紹介された。

続いて、昨年度判明した会員物故者50名のご芳名が報告され、出席者全員で黙祷を捧げた。

支部紹介では宇部支部の梶原浩司代議員(昭61年卒)から、宇部支部所属会員の紹介、役員の紹介、活動内容・実績、活動予定及び支部会開催時の模様等パワーポイントを用いて説明があった。

引き続き、霜仁会賞授賞式が厳かに執り行われた。学術振興賞選考委員長の朝霧成幸教授から、各賞の選考経緯が説明された。本賞に1名、奨励賞に4名、藤生賞に1名の応募があり、獨創性、新規性、将来性等を踏まえ、厳正な審議の結果、本賞1名、奨励賞2名が決定されたとの報告があった。続いて社会活動部門賞選考委員長の高瀬泉教授から選考経緯について説明があり、3名の応募の中から1名の受賞が報告された。

受賞者には会長から表彰状と副賞が授与された。令和5年度霜仁会賞受賞者は左記のとおりである。

第53回 霜仁会学術振興賞

本賞
西原 秀 昭 (平21年卒)
山口大学大学院医学系研究科 臨床神経学講座

「遺伝的な血液脳関門の破壊素因が多発性硬化症の病状進行に関わる」

奨励賞

徳 永 良 洋 (平23年卒)
山口大学医学部附属病院 第三内科

「IL7及びCCL19の産生は腫瘍抗原特異的TCR-T細胞の抗腫瘍効果を増強する」

奨励賞

河野 通 暁
(久留米大学医学部 平22年卒)

福岡輝栄会病院 循環器内科
「心臓型アノジンレセプターとカルモジュリンの結合強化は圧負荷による心肥大シグナルを完全に抑制する」

第43回 霜仁会社会活動部門賞

藤井 正 美 (昭58年卒)
山口県立医療センター 脳神経外科

「てんかんおよびパーキンソン病の手術を基盤とした包括的治療の推進普及活動」



続いて、議案審議後の臨時理事会にて決定した次期役員として、福田進太郎会長(昭54年卒)、藤村嘉彦副会長(昭56年卒)、黒川典枝副会長(昭59年卒)をはじめとする理事役割分担が紹介された。その後、福田会長から母校への支援や同窓との絆を紡ぐことに全力を尽くしたいとの挨拶があった。

最後に、今年度退任の水田英司監事(昭47年卒)と永井智彦理事(平19年卒)が本日欠席のため、後日感謝状と記念品をお送りする旨の説明があった。

**令和6年度
各委員会の活動方針ならびに事業計画**

総務・総合補償保険運営

白澤宏幸 委員長
当委員会においては令和6年度も以下のような多様な活動をして参ります。

1. 公衆衛生の向上のための教育助成事業として、県民を対象とした健康増進教育や障害者スポーツの指導者に対し医学的見地からの教育についての支援を行います。
2. 霜仁会ホームページを随時更新していきます。
3. 支部会活性化のため、支部会が開催される場合、可能な限り本部からも出席することとし、要請があれば医学部教官にも出席依頼の便宜を図ります。
4. 霜仁会会員総合補償制度を充実させます。
5. 総会、理事会、委員長会議、各種委員会、理事と新任教授との懇談会等を実施していく予定です。
6. 財政基盤強化のため、会費納入率の向上および収益事業部門の活性化を図ります。

本年度は55・6%の納入率でした。会員の皆様のご協力をよろしく願います。

霜仁会賞運営・医学教育助成
山本 健 委員長
本委員会では、医学や社会に貢献があった先生方への表彰をさせていただいております。霜仁会賞は学術振興賞と社会活動部門賞の2つがあります。霜仁会学術振興賞は以下の3つの賞があります。次世代のリーダーと成り得る優れた研究論文に本賞を、将来の発展が期待し得る優れた研究論文に奨励賞を、長期に亘る一連の優れた業績に対して藤生賞を贈呈しています。

霜仁会社会活動部門賞は、社会福祉および医学の向上に寄与した、個人あるいは団体に対して贈呈しています。選考は外部の選考委員により、厳正かつ公平に審査いただいております。応募要項は霜仁会のホームページをご参照ください。皆様からの多数の応募をこそよりお待ちしております。また、これまでの受賞者のお名前と業績もホーム

ページで確認いただけませ
す。医学教育助成では医学
祭の助成、学生への白衣の
授与、白蘭会への助成を行
っております。

検査センター運営

河野裕夫 委員長

霜仁会検査センターの主
な業務内容は、病理組織・
細胞診標本の作成とその病
理診断ならびに細胞診断で
す。また、当センターは大
学に隣接しておりますので、
大学の先生方の研究支
援としての病理組織標本の
作製も行っております。霜仁
会の収益部門ではありません
が、大学近隣の先生方の診
療あるいは研究の支援を第
一の目的として活動してい
ます。

組織対策

矢賀 健 委員長

組織対策委員会は、会員
相互の親睦・交流をはかり
会の発展に努めます。新型
コロナウイルス感染症流行
期間中は、各地域の支部会
総会が開催されておりませ
んでしたが、令和5年度か
ら開催されるようになって
います。支部会総会が開催
される際には、会長をはじめ
本部役員が出席し、山口
大学医学部や霜仁会本部の
現況を報告します。その
際、依頼があれば医学部教
授にお願いし、学術講演を
していただけるよう手配し
ます。委員会は、また、一
般会員の増員をはかり霜仁
会組織の拡大に努めると
もに、山口大学医学部附属
病院医療人育成センターに
協力し、山口大学で研修す
る初期臨床研修医をサポート
することにより、霜仁会
の活性化をはかります。
令和5年度からは、学生
時代からもっと霜仁会に興
味をもってもらえるよう、
学生代表との意見交換会を
開催しました。令和6年度
は、医学部の協力も得なが
ら、学生への説明やアンケ
ート調査の機会を増やして
いきます。

関連病院対策・勤務医対策

城戸研二 委員長

勤務医対策につきましては
は、関連病院長協議会等
と、病院の勤務医を対象に
本年度から開始された、医
師の働き方改革対策にとも
なう問題点を関連病院の勤
務医の実態を把握しなが
ら、重点的に対策等につ
き協議してまいります。勤務
時間の制限等の問題に
関して、さらに山口県内にお
ける実践的な若手医師不足
が深刻度をましており、そ
の対策が急務ですが、さら
なる地域枠の拡大、地域枠
学生のケアを充実させ、大
学の医療人育成センターや
行政機関と協力しながら、
魅力ある研修研究環境構築
等についても検討してまい
ります。少子高齢化社会に
おいて、さらに山口県全体
の人口減少の問題なども関
連して、これからの地域医
療が持続可能となるため
に、関連病院がどうあるべ
きか等についても検討して
まいります。

奥屋 茂 委員長
広報委員会では、年4回
定期的に編集・発行してい
る霜仁会会報を通して、ま
た霜仁会ホームページを利
活用して、会員相互のつな
がりやを築くことができるよ
うにして参りたいと思いま
す。コロナ禍が明け日常生
活を取り戻した今、学内外
での会員の活動躍や、支
部・クラスでの活動、山口
大学医学部ならびに附属病
院の最新の動向、講座・新
入医局員・関連病院・クラ
ブの紹介等、広範かつ詳細
な情報を収集し、充実した
内容で発信できるように、
編集委員会で検討していま
す。

このような広報委員会の
活動の趣旨をご理解いただ
き、情報をお寄せいただく
とともに、会報に積極的に
ご寄稿ください。また、当
委員会からの原稿依頼がお
手元に届いた際には、ぜひ
ともご協力いただきますよ
う何卒よろしくお願い申し
上げます。

センターの収益は近年減
少傾向にあり、多くの先生
にご利用いただけるよう、
検査料金の見直しも行って
まいりましたが、一般の検
査センターとの競合のなか
で、病理組織・細胞診標本
診断のみを行っている当検
査センターとしては、競合
他社の水準にはなかなかと
どかず、会員の先生方の御
協力なしには収益部門とし
て成り立ちません。このま
までは、検査センターの存
続の危機も懸念されます。
今後とも霜仁会検査セン
ターをご利用いただき、よ
り一層のご支援を賜ります
よう、厚くお願い申し上げ
ます。

令和5年度からは、学生
時代からもっと霜仁会に興
味をもってもらえるよう、
学生代表との意見交換会を
開催しました。令和6年度
は、医学部の協力も得なが
ら、学生への説明やアンケ
ート調査の機会を増やして
いきます。

国際医学交流・会館運営

藤岡頭太郎 委員長

山口大学留学生との交流
を図るため、他学部と合同
の交流会等の行事に積極的
に参加し、支援を行って参
りましたが、コロナ禍のた

め令和2年より交流会は中
止になっております。令和5
年に宇部留学生交流会が解
散となり留学生との交流は
行われていません。
医学部医学科の留学生に
対しては奨学金の貸与を行
います(1件20万円)。昨
年は1名の留学生(イン
ド)に奨学金を貸与しまし
た。帰国までにDeputy
Scholarshipのある英文雑誌に受理
されれば返還を免除してい

理事會報告

第10回 理事会

令和6年2月16日(金)
19時より医学交流会館3階
会議室において、25名の出
席のもと開催された。

審議した。(福田)
2. 内規及び申し合わせに
ついて、審議した。(福田)

第11回 理事会

令和6年3月15日(金)
19時より医学交流会館3階
会議室において、20名の出
席のもと開催された。

令和6年3月15日(金)
19時より医学交流会館3階
会議室において、20名の出
席のもと開催された。

【報告事項】

1. 1月29日(月)
霜仁会学術振興賞選考委
員会 (沖中)

令和6年3月15日(金)
19時より医学交流会館3階
会議室において、20名の出
席のもと開催された。

【報告事項】

1. 2月17日(土)
高見太郎教授就任祝賀会
編集委員会 (奥屋)

令和6年3月15日(金)
19時より医学交流会館3階
会議室において、20名の出
席のもと開催された。

【審議事項】

1. 新たに制定及び一部修
正した規程等について、

3. 2月24日(土)
広島支部総会 (福田)

国際医学交流・会館運営

山口大学留学生との交流
を図るため、他学部と合同
の交流会等の行事に積極的
に参加し、支援を行って参
りましたが、コロナ禍のた

4. 2月13日(火)
デジタルWG (矢賀)
3. 2月24日(土)
広島支部総会 (福田)

- 4. 3月2日(土) 佐野元昭教授就任記念祝賀会 (福田)
- 5. 3月5日(火) 検査センター運営委員会 (事務局)
- 6. 3月8日(金) 委員長会議 (白澤)
- 【審議事項】
- 1. 令和6年度霜仁会総会 審議事項について、資料により説明があり、承認された。(事務局)
- 2. 令和5年度決算見込 (霜仁会法人会計、一般会計、検査センター会計他)について、原案どおり承認された。(白澤)
- 3. 令和6年度予算案(霜仁会法人会計、一般会計、検査センター会計他)について、原案どおり承認された。(白澤)
- 4. 令和5年度事業報告について、原案どおり承認された。(藤村)
- 5. 令和6年度事業計画画案について、原案どおり承認された。(藤村)
- 6. 令和6年度診療報酬改定に伴う検査料金改定について、承認された。(福田)
- 7. 慶弔規程の一部改正について、承認された。(福田)
- 8. 2号会員の入会申し込みについて、承認された。(白澤)
- 10. 4月3日(水) 令和6年度山口大学医学部医学科新入生保護者会 (黒川)
- 11. 4月4日(木) 新入生オリエンテーション (黒川)
- 12. 4月16日(火) 山口大学医学部関連病院長協議会幹事会(吉野) 監査 (藤井)
- 13. 4月18日(木) 【審議事項】
- 1. 令和5年度決算(霜仁会法人会計、一般会計、検査センター会計他)について、原案どおり承認された。(白澤)
- 2. 令和6年度予算案(霜仁会法人会計、一般会計、検査センター会計)について、原案どおり承認された。(白澤)
- 3. 令和5年度監査報告について、承認された。(藤井)
- 4. 令和5年度事業報告について、原案どおり承認された。(藤村)
- 5. 令和6年度事業計画画案について、原案どおり承認された。(藤村)
- 6. 総会・懇親会日程及び総会運営分担について、承認された。(白澤)
- 7. 2号会員の入会申し込みについて、承認された。(白澤)
- 【報告事項】
- 1. 3月18日(月) 令和5年度山口大学学位記授与式 (福田)
- 2. 3月18日(月) 令和5年度臨床研修医修了式 (福田)
- 3. 3月19日(火) 霜仁会学術振興賞最終選考委員会 (山本)
- 4. 3月22日(金) 令和5年度山口大学大学院修了式及び山口大学卒業式 (福田)
- 5. 3月22日(金) 謝恩会 (福田)
- 6. 3月23日(土) 関東支部会 (福田)
- 7. 3月26日(火) 社会活動部門賞選考委員会 (沖中)
- 8. 3月28日(木) 山下裕司教授最終講義 (黒川)
- 9. 4月3日(水) 令和6年度山口大学大学院入学式及び山口大学入学式 (福田)
- 1. 4月19日(金) 編集委員会 (田尾)
- 2. 5月12日(日) 霜仁会総会・懇親会 (田尾)
- 【審議事項】
- 令和6年度霜仁会総会の反省点について、打合せの集合時間、懇親会の終了時間等について検討した。(田尾)

春の叙勲受章者

●瑞宝双光章 受章

野村弥生先生(昭44年卒)

ご受章、誠におめでとうございます。今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

令和6年度 霜仁会賞募集のお知らせ

第54回 学術振興賞 第44回 社会活動部門賞

- 1 今年も霜仁会賞を募集しますので奮ってご応募下さい。
- 2 応募〆切 令和6年10月31日(消印有効)
- 3 詳しくは、霜仁会ホームページ(<http://soujinkai.jp/>)を参照して下さい。
不明な点は霜仁会本部にお問い合わせ下さい。 TEL(0836)22-2029

就任挨拶

学長就任のご挨拶



関西医科大学 学長 木梨 達雄

令和5年度から関西医科大学の学長に就任いたしました。就任のご報告が遅れましたが、この紙面をお借りして同窓の先生方にご挨拶申し上げます。

私は、昭和59年山口大学医学部を卒業しましたが、ヒトの分子生物学に強い興味をもち、臨床を経ずに京都大学大学院医学研究科に入學し本庶佑先生に師事致しました。分子生物学・免疫学の分野で学位を取得した後、ハーバード大学、東京大学医科学研究所、京都大学大学院を経て、平成17年に関西医科大学附属生命医学研究所 所長・教授として着任しました。その後、平成30年に研究担当副学長・理事に就任して、現職に至ります。これまで幸いにも国内外の優れた大学・研究所で研究に従事す

る機会を得て、充実した研究人生を送ってきた。このまま全うするつもりでいましたが、予期せぬことに学長に指名され、人生が大きく変わった感があります。

の高い教育・研究・診療を通じて優れた医療人を育成し、社会に貢献する重要性に気づき、大きな意義を感じるようになりました。で、重責ながらもやりがいも感じているところです。本学は大阪女子高等医学専門学校として誕生し4年後に創立100周年を迎えます。2018年に看護学部、2021年にリハビリテーション学部が設置され、医療系複合大学へと大きく発展いたしました。「慈仁心鏡」の建学の精神のもと、患者さんに寄り添う共感力と、よりよい治療を求める探究心をもつ優

れた医療人を育てることが目標です。そのため、早期から医療や研究の現場を体験し、自分の適性を知る機会を作るように工夫をしています。振り返ってゲノム医学、再生医療、免疫チエックポイント阻害薬などの先端医療は基礎研究の土台のうえに発展してきました。未来の医療が知りたければ基礎研究を見ろと学生に伝えていきます。その意味で大学におけるすぐれた研究はイノベーションを通じて社会貢献をするとともに、学生にとつて魅力的な教育につながると考えています。

本学附属病院に山口大学から赴任された善甫宣哉教授が心臓血管外科講座にて活躍され、昨年後任に森景則保教授が着任されました。同窓の小林良樹准教授もアレルギーセンター長として活躍されています。今後とも皆さまにご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。

特別講演として学会代表世話人・大阪大学招聘教授菅野伸彦先生に「日本のCAOSの現状と展望」について、整形外科におけるロボット手術の保険収載までの道のりについてご講演を賜りました。教育講演として東京大学工学系研究科准教授 武田俊太郎先生に「量子コンピュータの基礎から最新線まで」、山口



学内報告

第18回日本CAOS学会

2024年3月7日(木) 8日(金)の2日間に、第18回日本CAOS学会を宇部市のANAクラウンプラザホテル宇部にて開催いたしました。CAOSはcomputer-aided orthopaedic surgeryの略で、コンピュータ支援技術を用いた整形外科を指し、ナビゲーション・ロボット手術やVR、AIなどを対象としています。

私は第1回の設立から関係しており個人的にも開催に際して感慨深いものがありました。今年度より研究会から学会となり、テーマを「CAOSの現状と展望」とさせていただきます。

特別講演として学会代表世話人・大阪大学招聘教授菅野伸彦先生に「日本のCAOSの現状と展望」について、整形外科におけるロボット手術の保険収載までの道のりについてご講演を賜りました。教育講演として東京大学工学系研究科准教授 武田俊太郎先生に「量子コンピュータの基礎から最新線まで」、山口

フォマティクス講座教授 浅井義之先生に「医用AIがもたらす革新と成果・技術の活用と未来展望」と題して大変貴重な講演を賜りました。AI診断・予後予測、外傷ナビゲーション手術、上肢診断・手術、脊椎ナビゲーション・ロボット手術、人工膝関節ナビゲーション・ロボット手術、股関節ナビゲーション手術の6つのシンポジウムを設けました。6つのスポンサーセミナー、2つのハンズオンセミナーを設け、企業に協賛いただきました。主題と一般演題を合わせて130題の演題をエントリーいただき、すべて口演とさせていただきます。両日で256名の参加者がありました。マニアックな分野で活発で有意義な討論が展開され、事務局長の今釜崇先生ならびに整形外科スタッフ・大学院生・研修医・秘書の活躍により、無事に盛会のうちに学会を終了することができました。

最後にになりましたが、学会の開催に際し、山口大学及び関連病院の霜仁会の先生方にも多くのご支援を賜りました。この場をお借りして深甚なる感謝の意を表します。皆さまのご健勝と益々のご活躍を祈念いたします。(整形外科学・坂井孝司)

少しでも宇部市ひいては山口県の活性化に貢献でき



令和6年度 山口大学医学部医学科
新入生・編入生名簿

新入生1年(109名)

金本 悠矢	梶川 拓海	落海 理映	岡田 麻鈴	小笠 元輝	大森 友貴	大室明日香	大原すずな	大羽 百花	大田 涉貴	大島 椰	梅本 瑞希	内田 翔太	白井 達哉	岩永 直子	井上 拓海	稲垣 広己	稲垣 舟晟	磯邊和佳菜	石河 快知	石川 夕愛	石川 悠介	石川 京奈	飯山慎乃祐	有村 知晃	有蘭 太暉	安部 祥平	旭 壮太	浅枝 智之	秋貞理穂子							
(広島県)	(山口県)	(広島県)	(兵庫県)	(大阪府)	(広島県)	(山口県)	(福岡県)	(福岡県)	(山口県)	(山口県)	(神奈川県)	(山口県)	(福岡県)	(山口県)	(兵庫県)	(愛知県)	(広島県)	(山口県)	(広島県)	(山口県)	(山口県)	(山口県)	(兵庫県)	(岡山県)	(山口県)	(山口県)	(福岡県)	(山口県)	(福岡県)							
金山 晴登	釜江 藍	唐沢 しほ	川井悠太郎	木室 涼	草野 貴裕	久保 璃奈	栗田 直英	五反田莉子	小林 奈央	坂井心乃助	坂田 智咲	坂部 大誠	笹井 博貴	下立 友哉	新谷 凜豊	末武花奈音	末永 爽太	杉山 ゆら	堰合 真桜	蟬塚伸太郎	高木 鈴世	高濱 瑛斗	田口翔太郎	田殿 旬	田中 小絵	田中 菜々子	田中 良仁	谷 和輝	辻村 咲七	土持 絃子						
(広島県)	(大阪府)	(千葉県)	(山口県)	(福岡県)	(山口県)	(山口県)	(山口県)	(広島県)	(山口県)	(山口県)	(山口県)	(広島県)	(福岡県)	(岡山県)	(山口県)	(福岡県)	(山口県)	(神奈川県)	(埼玉県)	(広島県)	(山口県)	(福岡県)	(山口県)	(福岡県)	(山口県)	(山口県)	(神奈川県)	(山口県)	(大阪府)	(福岡県)						
堤 風登	徳川 安秀	徳久 優花	内藤 蘭奈	中尾 駿輔	中川 里香	永田 英弥	中村 篤希	中村 光佑	中村 晋太郎	中本 隼太	西井 一期	野口 歩花	野田 将貴	長谷川雄大	原口 弘輔	檜垣 道雅	福岡 愛弓	福田 惺大	福田 敬大	藤田 洋大	藤田 陽太郎	藤野 莉佳	藤村 圭佑	古川 大智	松 春美	松木 玲奈	松口 秀大	松本 欣大	丸山晋一郎	三浦 公都	南 知里	峯岸 知輝	宮尾 海尋	宮崎 彩咲	三輪 大賀	森 一真
(広島県)	(大阪府)	(山口県)	(広島県)	(山口県)	(山口県)	(福岡県)	(山口県)	(山口県)	(山口県)	(山口県)	(広島県)	(山口県)	(兵庫県)	(兵庫県)	(福岡県)	(福岡県)	(福岡県)	(福岡県)	(広島県)	(福岡県)	(山口県)	(山口県)	(福岡県)	(福岡県)	(神奈川県)	(高知県)	(兵庫県)	(山口県)	(兵庫県)	(山口県)	(山口県)	(茨城県)	(山口県)	(福岡県)	(山口県)	(福岡県)

編入生2年(10名)

森 智里	安野 凜世	山口 凱	山下 知朗	山本 愛恵	油形 早紀	横田 悠	横溝 友紀	吉富 柊寿	若松 姫奈	渡部 有咲
(福岡県)	(福岡県)	(福岡県)	(山口県)	(山口県)	(山口県)	(北海道)	(福岡県)	(山口県)	(山口県)	(大阪府)

霜仁会2号会員入会者

沖村 貴之	田中 宏典	兼安 諒子	和田健一郎
(神奈川県)	(高知県)	(兵庫県)	(山口県)

令和6年6月まで(4名)

令和6年度
霜仁会年会費納入のお願い

年会費：10,000円

※年会費の納入がお済みでない方に振込用紙を同封
いたしましたので、よろしくお願ひいたします。

令和6年度 霜仁会総会報告

令和5年度 事業報告書

<p>I. 公益目的事業</p> <p>1. 特定寄附相当分 山口大学（医学部）への寄附 山口大学基金への寄附</p> <p>2. 継続事業相当分 山口県における医学教育・研究の助成事業 ・医学教育助成 ・医学教育関係病院長協議会への助成 ・山口県の研修医の教育方法の改善への助成 山口大学医学部留学生への助成 公衆衛生の向上のための教育助成事業 ・障害者スポーツ医学の推進について助成 霜仁会賞による学術研究の発展と奨励についての事業</p> <p>II. その他の事業</p> <p>1. 山口大学学生に対する教育支援事業 医学生のカリアデザインについての教育助成 白衣着衣式の記念写真助成</p> <p>2. 山口大学卒業後臨床研修センターの運営助成 卒業臨床研修指導医養成講習会への助成 民間企業による臨床研修病院合同説明会参加に助成 臨床研修修了式に助成 キャリアナビゲーションin山大に助成 山口県知事訪問・病院見学への助成</p> <p>3. 霜仁会館管理運営事業</p> <p>4. 会員相互の交流及び相互啓発に関する事業 霜仁会会報の発行 霜仁会ホームページの更新 山口大学医学部同窓会名簿作成 第11回霜仁会懇親総会（関東支部）開催 支部活動の活性化</p>	<p>5. 山口大学同窓会等支援事業 山口大学同窓会負担金 山口大学同窓会事業</p> <p>III. 収益事業 検査センター運営 宇部市MCC管理業務受託 会報・名簿広告 山口大学医学部関連病院院長協議会事務受託 霜仁会館管理業務受託</p> <p>IV. 法人管理運営事業</p> <p>1. 会議 総会 5月14日 理事会 8月を除く第3金曜日に開催 委員長会議 3月8日 霜仁会賞運営委員会 11月17日 検査センター運営委員会 1月16日、3月5日</p> <p>2. 山口大学医学部各種行事への参加 入学式 4月5日 新入生オリエンテーション 4月6日 学位記授与式及び卒業式 9月26日 山口大学解剖顕体者慰霊祭出席 10月13日 白衣着衣式出席 1月9日 学位記授与式及び学位記授与祝賀会、研修医修了式 3月18日 大学院修了式及び卒業式・謝恩会 3月22日</p> <p>3. 財政基盤の強化 会費増取のための会員への働きかけ 収益事業の拡張</p>
---	--

◎本部役員

会長	福田進太郎	S54	理事	田中 伸幸	S63
副会長	藤村 嘉彦	S56	〃	尾縣 秀信	H01
副会長	黒川 典枝	S59	〃	古谷 彰	H01
理事	矢賀 健	S53	〃	山本 健	H01
〃	城戸 研二	S53	〃	内山 浩一	H04
〃	沖中 芳彦	S55	〃	藤野 隆	H05・2号
〃	田口 敏彦	S55	〃	河村 宜克	H08
〃	岡 神爾	S58	〃	平野 晋司	H10
〃	奥屋 茂	S58	〃	石川 剛	H12
〃	河野 裕夫	S59	〃	宮崎 睦子	H13
〃	藤岡顕太郎	S59	監事	藤井 新也	S52
〃	小野 直司	S60	〃	白澤 宏幸	S60
〃	西崎 隆文	S61	事務局	河田 直人	
〃	吉野 茂文	S61	〃	松井 恵美	
〃	田尾 健	S62	〃	古屋ゆうこ	

◎霜仁会本部役割分担（理事・事務局）

会長	副会長	会務		委員長	委員
		総務委員会	田尾	事務局	
福田進太郎	副会長 藤村嘉彦	総合補償保険運営委員会			
		霜仁会賞運営委員会	山本	沖中・石川	
		医学教育助成委員会			
		広報委員会	奥屋	小野・内山・藤野 河村・平野・宮崎	
		検査センター運営委員会	河野	尾縣	
副会長 黒川典枝		組織対策委員会	矢賀	田口・田中・古谷	
		関連病院対策委員会	城戸	岡・吉野	
		勤務医対策委員会			
		国際医学交流委員会 会館運営委員会	藤岡	西崎	

令和6年度 事業計画

<p>I. 公益目的事業</p> <p>1. 特定寄附 山口大学（医学部）への寄附 山口大学基金への寄附</p> <p>2. 継続事業 山口県における医学教育・研究の助成事業 ・医学教育助成 ・医学教育関係病院長協議会への助成 ・山口県の研修医の教育方法の改善への助成 ・国際奨学金 公衆衛生の向上のための教育助成事業 ・健康増進教育への助成 ・障害者のスポーツ医学の推進について助成 霜仁会賞による学術研究の発展と奨励についての助成事業</p>	<p>II. その他の事業</p> <p>1. 山口大学学生に対する教育支援事業 医学生のカリアデザインについての教育助成 白衣着衣式記念写真への助成</p> <p>2. 山口大学卒業後臨床研修医への指導助成</p> <p>3. 霜仁会館管理運営事業</p> <p>4. 会員相互の交流及び相互啓発に関する事業 霜仁会会報の発行 霜仁会ホームページの更新 支部活動の活性化 霜仁会会員総合補償制度の充実 学生との協議会の開催</p> <p>5. 山口大学同窓会等支援事業 山口大学同窓会負担金 山口大学同窓会理事会及び他学部同窓会 総会・懇親会</p>	<p>III. 収益事業</p> <p>1. 検査センター運営</p> <p>2. 事務室賃貸・・・医学交流会館1階</p> <p>3. 宇部市MCC管理業務受託</p> <p>4. 会報広告</p> <p>5. 山口大学医学部関連病院院長協議会事務受託</p> <p>6. 霜仁会館管理業務受託</p> <p>IV. 法人管理運営業務</p> <p>1. 会議</p> <p>2. 山口大学医学部各種行事への参加</p> <p>3. 財政基盤の強化</p>
---	--	---

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

Table with 4 columns: Category, Current Year, Previous Year, Change. Rows include Assets (流動資産, 固定資産), Liabilities (流動負債, 固定負債), and Net Assets (正味財産).

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

Table with 4 columns: Category, Current Year, Previous Year, Change. Rows include Regular Changes (経常増減), Extraordinary Changes (経常外増減), and Tax Adjustments (税引前).

《実施事業の公益目的支出明細》

Table with 3 columns: Category, Planned, Actual. Rows include Specific Grants (特定寄附), Continuing Activities (継続事業), and Other Grants (他).

《公益目的支出計画実施報告書》

令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）の概要

Table with 2 columns: Item, Amount. Rows show total budget, changes, and ending balance.

収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

Table with 4 columns: Category, Budget, Previous Budget, Change. Rows include Income (収入), Expenses (支出), and Balance (収支差額).

《公益目的支出計画の状況》

公益目的支出計画の完了予定事業年度の末日 ① 計画上の完了見込み 2035年3月31日

Table with 6 columns: Category, Budget, Actual, Budget, Actual, Budget. Rows compare planned vs actual for current and next years.

代議員名簿

◎支部

関東支部 小川健治(47)
 吉川宏起(52)
 田中一成(62)
 中田雅彦(H02)
 中京支部 二ノ宮三生(54)
 北陸支部 市村宏(55)
 京滋支部 渡邊雅彦(59)
 大阪支部 今井克次(61)
 久保田尚(H09)
 兵庫支部 小谷穰治(62)
 岡山支部 園尾博司(47)
 広島支部 加藤誓(H03)
 木曾伸浩(H03)
 山陰支部 西村新吉(40)
 四国支部 木戸健司(60)
 黒田泰弘(59)
 岩国支部 増田光家(59)
 柳井支部 新谷清(47)
 周南支部 井上祐介(H02)
 大城研二(53)
 山口支部 中村洋(55)
 神徳翁甫(38)
 防府支部 船津直彦(57)
 長門支部 斎木淳(62)
 萩支部 中村勝昭(53)
 宇部支部 梶原浩司(61)
 鈴木克佳(H07)
 山陽小野田支部 民谷正彰(55)
 美祿支部 本間喜一(52)
 下関支部 長岡榮(54)
 伊原公一郎(56)
 山下智省(60)
 北九州支部 吉田智治(55)
 坂野滋(H02)
 福岡支部 海江田令次(52)
 関雅彦(42)
 佐賀支部 筒井俊徳(53)
 長崎支部 今村汪(44)
 佐世保支部 大石秀三(53)
 宮崎支部 市来能成(62)
 熊本支部 河野秀親(47)
 大分支部 藤倉義久(54)
 鹿兒島支部 今村純一(52)
 沖繩支部 武村盛信(51)
 大学支部 白澤文吾(H05)
 高見太郎(H11)

◎期別

昭和24年卒
 昭和25年卒
 昭和26年卒
 昭和28年卒
 昭和29年卒
 昭和30年卒
 昭和31年卒
 昭和32年卒
 昭和33年卒
 昭和34年卒
 昭和35年卒
 昭和36年卒
 昭和37年卒
 昭和38年卒
 昭和39年卒
 昭和40年卒
 昭和41年卒
 昭和42年卒
 昭和43年卒
 昭和44年卒
 昭和45年卒
 昭和46年卒
 昭和47年卒
 昭和48年卒
 昭和49年卒
 昭和50年卒
 昭和51年卒
 昭和52年卒
 昭和53年卒
 昭和54年卒
 昭和55年卒
 昭和56年卒
 昭和57年卒
 昭和58年卒
 昭和59年卒
 昭和60年卒
 昭和61年卒
 昭和62年卒
 昭和63年卒
 平成元年卒
 平成2年卒
 平成3年卒
 平成4年卒
 平成5年卒
 平成6年卒
 平成7年卒

岡本健志
 山下敦生
 平田寛
 徳久善弘
 篠山端也
 瀬戸崎修司
 三谷紀之
 宮地英彰
 佐伯一成
 上別府豊治
 北田真平
 清水弘毅
 二ノ坂建史
 山縣裕史
 佐藤大輔
 徳永良洋
 芳賀聡
 古谷圭
 村上駿一
 伊勢田憲史
 今井智子
 河生多佳雄
 島村亮助
 口分田啓多
 石井幸明
 山谷優明
 久保輝太
 飯田美里
 瀬戸口貴昭
 奥田史雄
 羽鳥未季子
 吉村美賀子
 藤本滯
 松田陸来
 藤岡輝
 久保璃奈
 中村克衛
 猪本利雄
 緒形健
 山田通夫
 和田一成
 高田千弘
 河村奨
 香月哲也
 江里健輔
 左利厚生
 加藤紘
 沖田極
 鈴木英太郎
 渡木邦彦
 坂部武史
 小野弘子
 高橋睦夫
 小田悦郎
 倉田悟
 市原清志
 三木秀生
 内田正志
 瀬尾勝弘
 武藤正彦
 清水良一
 鳥袋智之
 中村康彦
 村上不二夫
 黒川泰
 三輪茂之
 下郡博明
 村松慶一
 下田宏二
 湯尻俊昭
 金沢守
 渡邊悦也
 田村博史
 藤村智之
 安本教則
 草野倫好

平成8年卒
 平成9年卒
 平成10年卒
 平成11年卒
 平成12年卒
 平成13年卒
 平成14年卒
 平成15年卒
 平成16年卒
 平成17年卒
 平成18年卒
 平成19年卒
 平成20年卒
 平成21年卒
 平成22年卒
 平成23年卒
 平成24年卒
 平成25年卒
 平成26年卒
 平成27年卒
 平成28年卒
 平成29年卒
 平成30年卒
 平成31年卒
 令和2年卒
 令和3年卒
 令和4年卒
 令和5年卒
 令和6年卒

◎2号会員

◎学生

6年生
 5年生
 4年生
 3年生
 2年生
 1年生

奥田史雄
 羽鳥未季子
 吉村美賀子
 藤本滯
 松田陸来
 藤岡輝
 久保璃奈

教室紹介

救急医学講座

救急医学講座は、1982年に救急部として発足し、1994年に初代教授として前川剛志先生が就任し、全国で6番目の救急医学の臨床講座となりました。1999年には国立大学病院初の高急救命救急センターが当院に設置され、現在の先進救急医療センター(Advanced Medical Emergency and Critical Care Center, AMEC)となりました。2011年には第2代教授として鶴田良介先生が就任し、同年ドクターヘリの運航を開始しています。2019年の新病棟稼働時にAMECのベッド20床をすべてICUとし、県内の重症患者の受け入れを行っています。

2020年に2名の入局者を迎えた後、2023年に2名、2024年に3名の新入局者を迎え、現在、第一外科、第二内科、脳神経外科から3名の支援を含め、18名でAMECの運営を行っています。AMECでは、24時間365日対応

する必要のあることから、2005年から完全2交代制のシフト制を組んでおり、オンオフの切り替えがしやすい、メリハリの利いた勤務体系となっています。受け入れ患者数は、開設当初年間約700例でしたが、年々増加し2022年度は1577例の患者を受け入れており、内訳のトップ3は、脳神経疾患、心血管疾患、外因性傷病(外傷、急性中毒、熱傷など)で、それぞれ脳神経外科、第二内科、救急科が中心になって診療しています。また、人工呼吸管理、血液浄化療法、体温管理法などの集中治療が必要な場合、救急医がサポートしています。

病院前救急医療として、ドクターカーの運用および県内全域をカバーするドクターヘリの運航を行っています。ドクターカーは宇部山陽小野田消防組合との連携でステーション方式をとっており、医師・看護師同乗のもと、宇部市と山陽小野田市の救命事案に出勤しています。ドクターヘリは年間約300件の出勤があり、半数が救急現場への出勤となっています。広島県、鳥根県とは隣県協定を結んでおり、重複要請時にはお互い補完できるようになっています。また、災害派遣医療チーム(DMAT)の運用も行っており、先日の能登半島地震では、山口県のDMAT調整本部で県内DMATの指揮を執りつつ、石川県へも1チーム派遣を行いました。また、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)蔓延期には、人工呼吸管理やECMOによる集中治療管理が必要な患者を県内全域からAMECに受け入れつつ、DMATの隊員をクラスター支援チームとして県内の大規模クラスター施設や保健所へ派遣し支援を行いました。

教育においては、医学部生への教育だけでなく、院内の医療従事者向けの蘇生トレーニングコースであるICLSコースでの指導や、主に救急隊向けの病院前外傷初期診療(JPTEC)コース、症候別救急疾患病院前救護(PEMEC)コース、多数傷病者への医療対応標準化トレーニングコース(MCLS)なども定期的に開催しており、救急医療にかかわる多くの職種の方への教育も行っていきます。

研究に関して、鶴田先生の指導のもと臨床研究では重症患者を対象として前向き観察研究や後ろ向き観察研究、多施設共同研究の二次解析などを行い、年間2-3報の論文が英文雑誌に掲載されており、昨年度は、AMECに入室したCOVID-19患者の凝固線溶性性を経時的に解析した論文や日本救急医学会外心停止レジストリのデータを二次解析し、体温管理法の復温速度と転帰の関連を解析したもの、救急通報時の口頭指示の有無と転帰の関連を解析した論文などが英文雑誌に掲載されています。基礎研究においては初代教授の前川先生のころから継続して動物実験を行っており、現在では大学院生を中心にラットの熱中症モデルや急性一酸化炭素中毒モデルで水素ガス等の効果を検討しています。いずれにしても救急医学の領域はまだ十分に研究されていない分野も多いため、研究により新たな知見を獲得し、山口から将来の救急医学の発展に寄与したいと考えております。

現在、山口県立総合医療センター、徳山中央病院、岩国医療センターの3カ所の救命救急センターおよび山口労災病院に当教室の救急医が専従しています。また、1名の医局員が、山口県の行政にサブスペシャリティーの研修として出向しております。今後もより多くの救急医を育成し、山口県の救急医療体制の充実に努めたいと思います。霜仁会会員の皆さまの益々の健康とこれからのAMECに対する温かいご支援を祈念し、締めさせていただきます。(藤田 基)



病院紹介

阿知須同仁病院



理事長 西田 一也 先生
にしだ かずや



め、計138床収容可能です。通所リハビリテーション、在宅介護支援事業所及び阿知須訪問看護ステーションを兼ね備えております。救急告知病院／在宅療養支援病院としての要件に、細やかに対応しているところですが、コロナ禍で救急搬入の広域化がますます進んだ状況もあります。ともに働いてくれる院内スタッフには、個性あふれる、得意分野を有する人材が多数おります。ご無礼な面もあるかもしれませんが、出務していただける先生方の一挙手一投足に、学びの場面をいただいております。

種毎統合と称したものです。あらゆる職種に当てはまることだと思えます。そしてさらに拡がる要素を含んでいると考えます。業界内での差別化しか思いつかない管理体制を構築して行くのみです。改めて創立時の理念である『一視同仁の気構え』とは、一体何なのだろうと思うことがよくあります。患者さんを紹介していただける周辺の先生方や関連・連携施設の関係者の皆さんに、どのように感じていただいているのだろうか。また、一番大切なのは、ヒトなんだろうと。職員のみならず、病院内外におけるヒトとのつながりがどれだけ重要かと、声がかげにくければどうするのだろうか。ブランドイメージの施策をどのように絞るのかと、日夜考えます。

改めまして、器官病態外科学（第一外科）をはじめ、多くの医局よりご支援ご鞭撻をいただいていることに厚く感謝申し上げます。変わらぬご指導を何卒よろしくお願いいたします。

現在の主な標榜科は、内科・外科・整形外科・脳神経外科で、他科を含めて各専門分野を非常勤の先生方にカバー（バックアップ）していただいています。地域一般病床30床、医療療養病床26床、地域包括ケア病床22床、施設内に『介護医療院ひまわり』60床を含む

科、外科、耳鼻科および物理療法をそなえた26床の病院としてはじまりました。JR宇部線阿知須駅の東側にあり、当初の場所から移転することなく経過しております。「われら地方にも病院機能を」という純粋な憧れみたいなものが、そこにあつたように伝え聞いております。医療法人化が昭和47年（1972）。私の理事長就任が、平成24年（2012）であります。そして令和4年（2022）に医療法人社団向陽会

霜仁会の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。夏の関連病院長協議会や冬の准講会行事に参加させていただきありがとうございます。また平日頃から、山口大学医学部各講座並びに附属病院を中心とした高度先進医療、並びに地域医療の恩恵を賜りながら、運営させていたしております。当該院についてご紹介いたします。

同仁病院の沿革は、昭和37年（1962）に『一視同仁』を基本理念に、内



ご結婚・ご宿泊・会議・会食に

国際ホテル宇部

☎0120-375931

山口県宇部市島1丁目7-1

<http://www.kokusaihotel-ube.co.jp>

医療関連事業

疾病の診断から治療までを担う

ニュートラシューティカルズ関連事業
日々の健康維持・増進をサポートする

両輪で身体全体を考える

世界の人々の健康に貢献する
トータルヘルスケアカンパニーを目指します。

Otsuka-people creating new products
for better health worldwide



Otsuka 大塚製薬

<https://www.otsuka.co.jp/>

印刷を企画から在庫管理・発送まで

一括サポート!

まずはお気軽にご相談ください。

瞬報社オフリン印刷株式会社

[本社] 〒754-0002 山口県山口市小郡下郷2410番地
TEL 083-972-5678 FAX 083-973-1912

[営業所] 広島・下関物流センター

医書のことなら全てお任せ下さい。

- 常時 10,000点の在庫。
- 便利な試覧制度と即日納品も可能なスピーディー宅配便。
- インターネットによる医学書の最新情報の提供と注文が可能。

《日本医書出版協会認定》
《医学・看護学専門書店》

井上書店

宇部店 〒755-8566 宇部市南小串2丁目3番1号
TEL (0836) 34-3424 FAX 34-3090
e-mail : ube @ mm-inoue.co.jp

小倉店 〒802-0077 北九州市小倉北区馬借2丁目1-20
TEL (093) 533-5005 FAX 533-9789
e-mail : kokura @ mm-inoue.co.jp

[ホームページアドレス]

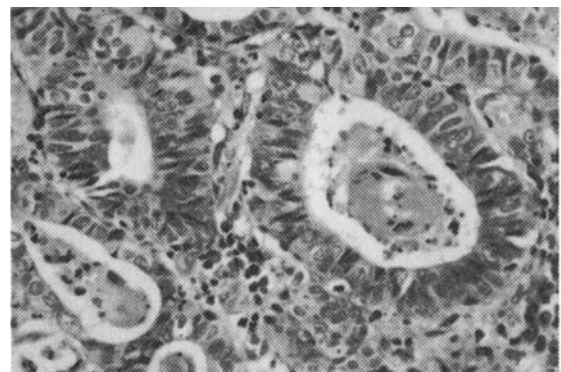
<http://www.mm-inoue.co.jp>

病理組織・細胞診検査 動物実験研究用病理標本作製

(詳細は検査案内参照)

組織、細胞診検査の
集配業務行っております。
ご利用の程を

- * 地域に貢献し、共に発展
- * 素早い対応、迅速、正確
- * 責任がもてる標本作り
- * 標本が教科書



(社)霜仁会検査センター

〒755-0046 宇部市南小串1丁目2-11 霜仁会医学交流会館2F

TEL : 0836-31-7510 FAX : 0836-31-7590

山口大学医学部霜仁会の 会員総合補償制度

団体割引*が適用されるため、
保険料が**割安**です!!



*団体割引は毎年変動する可能性があります。
本チラシに記載の団体割引は、2024年4月1日～2025年4月1日までに
保険始期のあるご契約に適用されます。

中途加入受付中! 中途加入の場合、毎月20日までにお申込みいただくと
翌月の1日が補償の開始日となります。

産業医等活動保険にもご加入できます!
(勤務医師賠償責任保険任意オプション)

会員総合補償制度のおかげで安心して医療に従事できます

万一の医療事故を補償

医師賠償責任保険
(勤務医向け)

団体割引 **20%**

地震や日常生活による**ケガ**
携行品 賠償責任を補償

団体割引 **5%**

傷害補償

- ◆国内外、24時間、事故によるケガを補償します。
(地震・噴火・これらによる津波によるケガも補償します。)
- ◆ケガ以外にも携行品の損壊など、様々なリスクを補償します。
- ◆年齢にかかわらず保険料は一律です。

働けなくなった時の**収入**を補償

団体割引 **10%**

所得補償

- ◆病気やケガで就業不能となった場合に、
先方の方の所得を補償します。
- ◆入院はもちろん、自宅療養もカバーできます。
- ◆ご加入の際、医師の診査はありません。(健康状態告知のみ)。

+

所得補償、団体長期障害所得補償
どちらも加入することをおすすめします。

万一の**がん**・**病気**・**ケガ**を補償

がん補償

- ◆がんと診断確定されたとき、診断保険金が支払われます。
- ◆入院保険金は1日目から何日でも補償されます。
- ◆手術保険金は何回でも補償されます。(手術の内容・種類によっては回数の制限があったり、お支払の対象とならない場合があります)。
- ◆ご加入の際、医師の診査はありません。
(健康状態告知のみ)。

団体割引 **10%**

長期間働けなくなった時の**収入**を補償

団体割引 **10%**

団体長期障害所得補償

- ◆病気やケガで就業障害となった場合に、先方の方の所得を補償します。
- ◆長期にわたり(最長5年)生活費をお届けします。
- ◆ご加入の際、医師の診査はありません。
(健康状態告知のみ)。

+

突然**介護**が必要になった時に
保険金をお支払

団体割引 **10%**

介護補償

- ◆公的介護保険制度に基づく要介護2以上の認定を受けた場合
- ◆東京海上日動所定の要介護状態(要介護2用)と診断され
その状態が90日を超えて継続した場合
いずれかの場合、保険金(一時金)をお支払いたします。

詳細はパンフレットをご覧ください。この広告は医師賠償責任保険、産業医等活動保険、団体生活総合保険の概要についてご紹介したものです。
詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡しする保険約款および協定書によります。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。尚、ご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

申込書類・資料のご請求やお問い合わせはお電話もしくはメールで下記取扱代理店までお願い致します。

お問合せ先・取扱代理店

株式会社パイオニア (平日)午前9時～午後5時
〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町4-4-16 小泉第2ビル 3階
TEL: 0120-010-938 FAX: 0120-921-051
http://www.pioneerltd.com yamada@pioneerltd.com

引受保険会社

東京海上日動火災保険株式会社
(担当部) 医療・福祉法人部 東京都千代田区三番町6-4 〒102-8014
TEL: 03-3515-4143 www.tokiomarine-nichido.co.jp
募集文書番号: 2024年2月作成 23TC-008254

いついかなる時も、いちばんそばに。

To Be a Good Company



東京海上日動

ニューフェイス

研修を振り返って

山口大学医学部附属病院 第三内科

竹里明莉

私は山口大学を卒業後、附属病院の第三内科で勤務してまいります。化学療法や移植、感染症、血糖管理など幅広く学ぶことができ、とてもやりがいのある分野であると感じております。医師としてまだまだ未熟ではありますが、患者さんの気持ちに寄り添い今後も邁進していく所存です。これからもご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願いいたします。

どの科でも教育熱心で優しい先生方が多く、手技を経験できる機会が多いことがとても魅力的だったと感じています。特に不安の大きかった救急外来では、先輩や先生方、コメディカルの方々に幾度となく助けて頂き、初期対応を身に付けることができました。

また、医局全体がアットホームな雰囲気でもなんでも相談しやすい環境で、人生の先輩として様々な相談にも乗っていただきました。そしてなにより優秀な同僚に恵まれて、大変な時にはお互いに助け合いました。楽しく充実した日々を過ごすことができました。4月から山口大学医学部



後列右から3番目が私です。

済生会山口総合病院
<http://www.yamaguchi-saiseikai.jp/>

ジエネシス

2年生になって

医学科 二年 山下貴大



山口大学の医学部は1年次のみ吉田キャンパスで共通科目を受講し、2年次から小串キャンパスで専門科目を学ぶため、環境は大きく変化する。吉田キャンパス周りは学生街の雰囲気があったが、小串はだいぶ落ち着いた印象だった。さて今、小串で受けている授業は様々な点で1年次のそれと大きく異なる。まず1年次の共通科目は1学期中、同じ授業を受け続ける学制なのに対して、医学部はユニット制になっていることだ。毎週同じ時間に同じ科目の授業を受けるわけではなく、集中的かつ効率的に授業と試験を繰り返すようにカリキュラムが精巧に組まれている。生化学の授業はかなりの週もあれば、消化器系の授業ばかりの週もあるといった感じだ。そして何より勉強量の変化は大きい。今回「2年生になって」という記事を書くにあたって、1年次後期の授業数を見直してみると週12コマであったのに対して、2年次第1週目の授業のコマ数は25コマで2倍以上だった。さらに毎週月曜日の朝に試験があつて、かなりハードな日々を過ごしている。時々、1年生の頃は楽しい学生生活だったなあと思いに耽る。また授業は講義ばかりではなく、実習も多い。今受けている実習でいうと、組織学実習、骨学実習、解剖実習がある。最初は右も左もわからないままにただ疲れるだけの毎日だったが、だんだんと慣れてきて要領がつかめてくると面白い部分もある。特に講義や教科書から得られた知識が、実物前にして確認できることはとてもありがたい。このよ

うに医学部は忙しい反面、貴重な経験を得られる場所だと思う。最後に、講義中に解剖学の教授から印象的な話があったので引用したい。「今やっている解剖は確かにしんどいけれど、臨床に行ったらまた必ず解剖

3年生になって

医学科 三年 倉上真緒



をしたくなる。だから今頑張れ。」私は臨床に移った後でも、あの時もっとしっかり取り組んでいけばよかったと後悔することがない。今の時間を大切に精一杯勉学に励みたい。

また、前年度まで山口大学医学部の医学科3年生、看護学専攻2年生が合同で行っていた医療環境論の講義が、今年度から検査技術科学専攻3年生、山口大学理科大学薬学部薬学科4年生も加わって行われていきます。普段の講義では聞くことのない看護学、検査学、薬学の講義を受けることができ、看護師・検査技師・薬剤師が院内で果たしている役割を知ることができました。また、各学科の学生から構成されたグループでスマイルグループディスカッションを行い、医療を取り巻く問題についてそれぞれの視点から意見を出し合い、グループ発表を行う機会もありました。私たち医学生にはない視点を学ぶことができ、そんな考え

があるのかと世界が広がったような感覚でした。医療現場では多職種連携が必須だといいますが、そのために必要な各職種への理解を深めることができるよい機会だったと感じます。

部活動では、4月から幹部となり、まとめる側の責任の重さを感じています。コロナ禍が収束し、今まで中止されていた他大学との交流戦や地区の大会が再開

4年生になって

医学科 四年 西本拓実



山口大学医学部医学科4年の西本拓実です。今回はこのような機会を頂きありがとうございます。この場を借りてこれまでの目まぐるしい3年間を振り返りつつ、4年生としての意気込みを述べさせていただきます。

2021年、私が入学したときは依然としてコロナウイルスが流行しており、講義は対面とオンラインのどちらもありました。医

されました。強くなりたいたいというモチベーションが上がることも、幹部の仕事量の多さに驚いています。今までの部活動が、先輩たちの働きに支えられていたことを改めて感じました。

6月からは自己開発コースが始まり、これから夏にかけて多くの大会や試験が行われます。焦らず自分のペースで、着実に努力を重ねていこうと思います。

2024年となり始まった4年生、各科の先生から臨床医学系の講義を受けています。講義内でレントゲンやCT、MRIを用いた画像所見に触れる機会が非常に多くなりました。さまざまな画像所見から疾患に関する情報を得るだけでなく、

5年生になって

医学科 五年 梅田琉聖



山口大学医学部医学科5年の梅田琉聖と申します。この度は貴重な機会をいただきありがとうございます。拙い文章ではありますが、お付き合いいただける

5年生に進級し、年明けから始まったポリクリも4か月ほどが経過しました。はじめは2週間で様々な診療科をローテーションするという慣れない環境に戸惑いながら、実習をこなすこととで精一杯でした。早いもので実習の全日程の3分の1を終え、考える余裕もできてきたように思います。

これまでの座学では系統講義を受けて、試験でその定

着度を確認するという日々でした。しかし実習では実際の医療現場を間近で見学し、時には手を動かして医師になるために必要な知識や手技を学んでいます。これまでの受け身の学習ではなく、実習を通して湧いてきた疑問に対して主体的に学習する機会が増えたように感じます。国家試験を経

て初期研修医、医師となっていくにあたって、主体性を持って学んでいく必要性を実感するとともに、積極的に実習に参加しようと気を引き締めていく所存です。また部活動では5年生となり、段々と上級生として振る舞う機会が増えました。現在ではコロナ禍で中止されていた大会やイベントも復活し、部活動が精力的に行われています。残り少ない大会に向けて技術向上に努めるとともに、先輩として部活動を支えられるよう頑張りたいと思います。

大学生活も残り2年間となり、就職についても考えることが増えました。私は山口県出身で、ずっと山口県で暮らしてきました。そのため、一度は自分の知らない地で暮らしてみたいという漠然とした憧れがありました。しかし実習を通し

クラブ紹介

水泳部

医学科 四年

花村太翼



山口大学医学部水泳部の主将を務めさせていただいております。医学科4年の花村太翼と申します。

医学部水泳部は、男子スイマー8名、女子スイマー

7名、女子マナージャー9名の計24名で活動しています。練習は水曜日、土曜日の週2回で、宇部にある防長SCのプールを借りて行っています。また、夏期の土曜日は、吉田キャンパスにあるプールで練習を行います。練習はウォーミングアップから始まり、基礎的な動きを確認しつつ経験者から初心者への指導などを行い、最後に追い込みをかけることにより泳力の向上を図っています。

山口大学医学部水泳部には、年間を通して様々な行事があります。主な大会としては、4月に九州山口地区医科学生体育大会、6月に中四医系学生水泳競技大会、8月に西日本医科学生体育大会および西日本コメディカル学生水泳競技大会に参加しています。また、12月の九山練習会、3月の中四国春合宿にも参加し、他大学の水泳部員とも交流を深めています。

戦績については、昨年度行われた九州山口地区医科学生体育大会では9種目でメダルを獲得し男子優勝および総合3位、中四医系学生水泳競技大会では8種目でメダルを獲得し男子総合2位、西日本医科学生体育

大会では4種目でメダルを獲得しました。西日本医科学生体育大会で優勝した4名は学長表彰対象者に選ばれました。一昨年度まではコロナ禍にあったため大会の参加も久方振りとなり、特に当時の4回生以下にとっては初めての大会となりましたが、各大会で経験者初心者問わず多数の者が表彰を受けることができ、良好な滑り出しとなりました。このように活動できておりますのも、顧問の岡田先生をはじめ、OB・OGの先生方からの多大なるご支援ご協力があってのものであり、部員一同深く感謝しております。今後とも、部員一同より一層練習に励んで参りますので、変わらぬご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願いいたします。



支部だより

佐賀支部会

八〇〇字程度の原稿を写真添付の上ご投稿下さい。

話はがん治療最前線で活躍中の病理専門医らしく、いきなり遺伝子パネル検査

令和5年(2023年)、コロナ騒動も4年目に入ると社会制約が解除され始め、食事も被感染も茶飯事となり、霜仁会報で全国各地の支部会が再開されている記事を目にすると開催に向けて準備を意識した。5月の宇部での総会出席も終え、7月に会員の若手から講演の快諾が得られた。12月に会員25名全員に第1段の開催案内を送った。正月休みが明け、垂れ幕作成などホテルとの打ち合わせを済ませ、第2段の開催案内状を送った。当日は好天だった。ホテルは送別会などで混雑していた。2時間前から部屋の設営を整え、僅かな参加者の到着を待った。演者の増田正憲先生(H16)が30分前に到着し、今日の参加状況を伝えた。何時ものことと淡々としていた。演題の「ゲノム診療」の話は、3年前のコロナ前の最後の総会の時の立ち話があっけなく、今回の講演の運びとなった。

国立がん研究センター内に設置されたがんゲノム情報管理センター(CCAT)にて集約、および有効薬剤の検索が実施された後、結果が医療施設に返却されるという。先生が在籍している県の中心的施設も連携病院止まりで、がんゲノム医療中核拠点病院、あるいは拠点病院とその返却結果を協議して治療に当たるとのことだった。ただ、遺伝子異常が検出されても薬物治療に結びつく症例は1割とされ、実際はもっと少なく、まだまだ研究段階であることを熱演された。記念撮影を行い、瀬戸口洋一先生(S53)の乾杯で久しぶりの宴会となった。鳥栖市に赴任してきた守崎勝悟先生(H12)は、離島で救急医療に傾注し、新しい病院で循環器診療に専心

しているとのことで、病診連携を期待した。霜仁会の世話はこれまでのいろいろな人との繋がりを一時だけ思い出させてくれる。

出席者…

瀬戸口洋一(S53)、

筒井俊徳(S53)、岩崎岩太(S58)、守崎勝悟(H12)、増田正憲(H16)、(写真はP18に掲載)

クラス会報告

楽しいクラス会の様子を八〇〇字程度にまとめて写真を添えてお送りください。

六一会

田邊剛君(公衆衛生学・予防医学教授)の医学部長就任のお祝いを兼ねて、2024年4月27日に国際ホテル宇部で61卒同窓会が行われました。幹事は、山崎隆弘君(臨床検査・腫瘍学教授)、西崎隆文君(宇部興産中央病院院長)、梶原浩司君(宇部西リハビリテーション病院院長)の3人、そうそうたる顔ぶれです。これも、期別代表の私こと下郡が何もなかったためにご迷惑をおかけした結果です。県内外から31名の方々に参加していただき、018年3月17日に熊本で笠岡俊志君の幹事で行っていただき、6年ぶりとなりました。梶原君の司会で、初めに西崎君から開会のご挨拶をいただき、ついで山崎君の乾杯の音頭で和やかに会が進んでいきました。田邊君からはご挨拶と合わせて、最近の大学の近況を紹介していただきました。田邊君へのお祝いの品はTUMIのバッグです。西崎君がわざわざ小倉井筒屋まで足を運んでくれました。そのあと、出席者全員から一言ずつ挨拶していただきましたが、時間の関係で短く、一言「長くなりませんが」と一言言っただけです。同窓会はやはり楽しく、もっと楽しく学生時代と変わらない笑顔と会話で楽しく時間を過ごしていきまいた。同窓会はやはり楽しく、もっと間隔を詰めてやっていいのではというご意見が多く、さっそく次回同窓会は来

年福岡の中山君にお願いすることが決まりました。記念撮影を終えて二次会のTwenty Oneへ移動、さらに話は楽しく続きました。翌日は、河野（青木）さん、梶原君、長次君、西崎君、林君の5名で宇部72カントリークラブ万年池東コースでゴルフが行われました。結果は長次君が優勝、おめでとうございます。次の回の同窓会でも更なる盛り上がりを感じさせる盛会となりました。（下郡博明）

H 30 会

去る2024年2月11日の建国記念の日に、我々H30年卒初めてのクラス会が開催されました。我々世代の医学部生にはなじみ深い『居酒屋ぶらり』に山口県内のみならず東京や広島、福岡から総勢12名が集まりました。

COVID-19が猛威を振るい、気の置けない同級生と会うことすら儘ならない時期を経て、我々の学年も気づけば卒業6年目となり医学部1周分の月日が流れていました。そんな節目の年にぜひとも一度集結しようと、学生時代から我々の学年のムードメーカーであった



とだと当事者ながら痛感する日々です。そのためには時にはこうしたエネルギー補給が肝心ですね。次回開催時はもっと多くの同級生の元気な顔が見られることを期待しております！

55会開催予定
 令和7年2月1日（土曜日、夕刻）
 北九州市小倉北区で開催します。
 詳細は同級生mailでお知らせします。
 幹事：吉田智治



六一会



佐賀支部会



H 30 会

編集後記

今年には医師の働き方改革元年です。若い頃、医師は自己を犠牲にしても患者に尽くさなければならぬと教えられ、がむしゃらに働きました。医師だから当然のことと思っていました。が、今では奉仕者の自己犠牲ばかり求める歪んだシステムだったのではと疑問を抱きます。しかし拙速な改革は現場を混乱させます。医師である前に人間であるとは正論ですが、正論は往々にして世の中を混乱させるようです。正論ほど厄

介なものはないのかもしれませんが、6年余り務めさせていただいた会報編集委員長を退任することとなりました。ご支援くださいました皆様に深謝いたします。今年度より小野直司理事が会報編集委員長に就任されます。会報を通じて、医学部や、学生、卒業生の皆さんの活動をお伝えするだけでなく、会員皆様の絆がより一層深まることを願っております。（田尾 健）

訃報

- 長島正明先生（昭42年卒） 令和5年10月5日逝去
 - 竹川 亨先生（昭52年卒） 令和6年1月26日逝去
 - 西田博美先生（昭45年卒） 令和6年3月3日逝去
 - 夏目浩吉先生（昭54年卒） 令和6年3月11日逝去
 - 村田欣也先生（昭37年卒） 令和6年3月28日逝去
 - 中西 敬先生（昭30年卒） 令和6年4月1日逝去
 - 永 吉雄先生（昭31年卒） 令和6年4月2日逝去
 - 小見山喜充先生（昭43年卒） 令和6年5月29日逝去
 - 岩尾英一先生（昭38年卒） 令和6年6月1日逝去
- ご冥福をお祈りいたします。